



如意ヶ丘

第23号

《発行》平成30年1月31日



創立90周年記念式典の様子

ごあいさつ



会長
牧 亨

厳冬の候、会員の皆様にはご健勝にて新年をお迎えのこととお慶びを申し上げます。平素より、如意ヶ丘同窓会に多大なご支援を賜り感謝申し上げます。

一昨年7月の定期総会において、本校創立90周年に向けて担当教職員と同窓会役員で組織する実行委員会を立ち上げさせて頂きました。

実行委員会では、10年後の100周年を見据え、また現在県立高校後期の再編・整備の検討がなされ本校も

その対象校である現状を踏まえ、できる限り経費を抑えコンパクトな形で行事を運営することを基本としてスタートしました。

以来1年4ヶ月に亘り、実行委員会では記念式典・講演・モニュメント製作・祝賀会、および国際教育基金募金について日々協議を重ねてまいりました。

ご案内のとおり昨年10月6日に本校体育館において富山

県知事様、高岡市長様をはじめ来賓各位のご臨席を賜り、さらに関係各位多数のご出席のもと式典と講演会が粛々と挙行されました。また、祝賀会は伏木外港緑地の伏木コミュニティセンターに場所を移し、100名のご参加を頂き歴代校長先生方のトークを交え和やかなひと時を過ごし、当日の行事が全て終了することができました。

また、国際教育基金の募金については、80周年に引続き今回もご支援をお願いすることにしました。これは第二外国語を選択した国の友好校へ海外語学研修に派遣される2年時生徒全員に、毎年その費用の一部を基金から助成金として支援しています。この事業は、全国でも珍しく、富山県からも大きな評価を受けております。多くの皆様にご趣旨をご理解いただき、次の10年に向けての目標額を達成することができました。

終わりに、創立90周年事業が多くの関係各位のご支援、ご協力により全て無事に遂行できましたことに深く感謝を申し上げます。

向寒の砌、会員の皆様には御身ご自愛専一の程ご祈念申し上げます。

創立 90 周年を迎えて



校長

山端 将介

如意ヶ丘同窓会報第 23 号の発行を心よりお喜び申し上げます。同窓会員の皆様方には、日頃から本校の教育活動に深いご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

また 10 月の伏木高校創立 90 周年記念式典及び祝賀会開催の際には、同窓会員の皆様方にご尽力いただき、併せて御礼申し上げます。お陰様で、記念事業として、国際教育基金の充実、記念モニュメントの建立及び本校の教育環境の充

実を図ることができました。特に、国際教育基金の充実が図られたおかげで、本校の国際交流が今後とも安定的に継続して行われる基盤を築くことができましたことは、教職員一同、喜びに堪えません。

今年度の本校の国際交流活動としては、7 月下旬に中国・大連市第十二中学と韓国・水原市清明高校から合わせて約 75 名の生徒を受け入れました。恒例となっている地域挙げての歓迎パーティーでは、支援推進委員会とともに如意ヶ丘同窓会の多大なる支援を得て、伏木コミュニティセンターにて開催していただきました。かたかご幼稚園・保育園児による踊りや錬成館のバトン演技、全員参加のゲームなどにより、楽しいひと時を過ごしてもらうことができました。

これとは別日に P T A 主催のバーベキュー歓迎会も催され、保護者の皆様方にはホームステイの受入れにも多大なご協力をいただいております。このように地域や同窓会、

P T A などの関係各位の支援により、本校の国際交流活動が支えられていることを実感するとともに、ここに改めて感謝申し上げます。

去る 12 月に、中国、韓国への語学研修を行いました。ロシア・ウラジオストック市ガルモニア校との交流では、9 月下旬に訪問団を受入れ、語学研修は 3 月に実施する予定です。サッカー部もスポーツ交流事業として 3 月に韓国を訪問する予定にしております。

本校では、生徒全員が第 2 外国語として中国語、韓国語、ロシア語のいずれかを選択して学び、それぞれの国の友好校でホームステイを経験するという、全国的にもユニークな特色ある取り組みをしております。1 学年 120 名の小規模校ではありますが、県内唯一の国際交流科として、海外からの各訪問団の受入れを積極的に行い、交流の輪を広げ国際感覚を養っております。本校では、これからも「伏木高校目指すは国際人へのパスポート」のスローガンのもと、生徒、教職員が一丸となって友好校との交流をはじめ幅広い交流活動の実践を通して、国際理解教育の推進に努めてまいりますので、同窓会員の皆様方には、今後ともご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



如意ヶ丘同窓会・支援推進委員会主催歓迎会 (H29.7.24)

総会報告

伏木高校如意ヶ丘同窓会

平成 29 年度の如意ヶ丘同窓会定期総会は、7 月 15 日(土)16:00 より「伏木コミュニティセンター」において、約 60 人が出席して開催されました。総会では、同窓会物故者に対して黙とうを捧げたあと、牧同窓会長、山端校長の挨拶がありました。議事は議長に選出された牧会長にて進められ、平成 29 年度の同事業計画(案)、同会計予算(案)、等の議案が満場一致で採択されました。引き続き、10 月 6 日に迫った「90 周年事業」の事業計画や進捗状況について、南副校長より説明があり、同窓会の皆様への協力を呼び掛けました。

続いて、在校生による海外研修の報告会が開催されました。

- ・中国 大連市第十二中学 4泊5日の研修(12月・29名参加)
- ・韓国 清明高校 4泊5日の研修(12月・45名参加)
- ・米国 ビショップ・ルアーズ高校 9泊10日の研修(3月・23名参加・2年毎に実施)
- ・ロシア ウラジオストック 7泊8日の研修(3月・23名参加)
- ・韓国 スポーツ交流 サッカー部 5泊6日の研修(3月・24名参加・2年毎に実施)

・今年度の中国・韓国ホームステイ受け入れ 歓迎式・交流会・・・などなど、実際に体験した語学研修やホームステイについて報告していただきました。

各学校での「対面式・交流会・授業・研修」等の様子が次々に映し出され、後輩が「広い世界を知り抜こう!」と逞しく成長している姿に、本当に感動しました!会場からは温かい大きな拍手が送られました。



アトラクションでは本校のブラスバンド部の皆さんによる迫力ある演奏を披露していただきました。真摯に演奏されるブラスバンド部の皆さんの姿と熱い想いは先輩方の心にしっかりと刻まれました。素晴らしい演奏をありがとうございました!最後に、全員で声高らかに校歌を斉唱し、母校と同窓会の益々の発展とお互いの健康と再会を期し、盛会裏に閉会しました。同窓会会員一同、90周年式典の大成功を心に期して会場を後にしました。

副会長 山本 健一(伏高43回)

平成二十九年度 如意ヶ丘同窓会顧問・役員

役 職	卒業回数	氏 名
顧 問	商業 14 回	山崎 孝之
〃	商業 16 回	大黒 幸雄
〃	北高 3 回	山下 和夫
〃	北高 3 回	吉原 節夫
〃	北高 9 回	濱谷 元一郎
〃	伏高 13 回	横田 安弘
〃	伏高 20 回	盤若 進二
〃	伏高 38 回	石須 大雄
〃 (関東如意ヶ丘)	北高 6 回	酒井 敬司
〃 (関西支部長)	伏高 12 回	杉林 清
〃 (学 校 長)		山端 将介
会 長	伏高 16 回	牧 亨
副 会 長	伏高 18 回	山口 正志
〃	伏高 22 回	向井 辰郎
〃	伏高 22 回	増井 修
〃	伏高 23 回	山崎 泰邦
〃	伏高 26 回	小泉 哲二
〃	伏高 26 回	澤武 博
〃	伏高 28 回	上田 耕一
〃	伏高 30 回	炭谷 強
〃	伏高 37 回	条谷 正利
〃	伏高 39 回	戸澤 秀行
〃	伏高 40 回	宮越 一郎
〃	伏高 40 回	山本 政則
〃	伏高 43 回	山本 健一
監 査	伏高 16 回	山 孝之
〃	伏高 17 回	中島 貞之

第 21 回如意ヶ丘同窓会関西支部 総会・懇親会

平成 28 年度、総会・懇親会を 9 月 24 日大阪なんば「道頓堀ホテル」に於いて、母校より山端校長、同窓会本部より増井副会長と小泉副会長を来賓としてお迎えし、総勢 25 名の参加で第 21 回如意ヶ丘同窓会関西支部総会が開催された。

冒頭、校友物故者への黙祷を捧げた。杉林支部長が『本校の創立 90 周年記念式典に支部代表として出席します。本年は全員参加による支部活動をしていきましょう。』と開会挨拶があり、続いて来賓の山端校長より本校生徒の成長について『入学後、全員パスポートを取得し、ある程度の語学を習得している。友好校との国際交流活動で、「目の輝き」「発言」「積極性」等々、帰国した時の生徒の変化に非常に驚いた。生徒にとって大いにプラスになります。』続いて、来賓の増井副会長からは『高校統廃合について、現在県で検討中です。又創立 90 周年記念事業の国際交流基金はほぼ達成です。』と報告がありました。一同、本部のご努力に感謝致します。

議事に入り、杉林支部長を議長に選出し、川田副支部長司会のもと、平成 28 年度事業報告を杉林支部長、収支報告を奥会計から説明、川田会計監査から会計監査報告があり拍手で承認された。

続いて平成 29 年度事業計画案（昨年度同様事業）収支予算案を審議した。役員改選は全員留任とし、1 名増減あり。退任鶴谷正昭氏、新任本山紀美子氏が承認された。

増井副会長より支部へ活動助成金が杉林支部長に授与され、全員拍手で謝意を表しました。記念撮影の後、総会は



終了した。

懇親会は、来賓の小泉副会長による乾杯の発声で開宴となった。来賓の富山県人社高島氏の古里情報色々。会員の麦谷一男氏による『越中伏木湊と海商百家』著者正和勝之助氏のコピー 5 枚によるお話、明治の居宅絵図等、興味深く聞きました。

余興はとやま名産品ジャンケン大会。ギネス挑戦の輪踊り「河内音頭」。カラオケは止むことなしの有様、タイムオーバーで終宴となった。

メームは、伏木商業・伏木高校の校歌を両副会長の応援を得て無事斉唱、増井副会長のパンザイ三唱、川田副支部長の閉会挨拶、秋元顧問の立派な一本締で閉会となった。母校の発展と会員の健康を祈ってシーユーアゲイン。

第 21 回関東如意ヶ丘同窓会総会

平成 29 年 9 月 21 日、素晴らしき秋晴れに恵まれたこの日第 21 回・関東如意ヶ丘同窓会総会が総勢 36 名の出席のもと、千代田区九段北・アルカディア市ヶ谷にて開催された。

総会は定刻、金子副会長の司会進行のもと行われました。榎副会長の開会宣言の後、酒井会長挨拶に先立ち、会員物故者への黙祷を捧げた。

挨拶ではご多用の中、来賓の皆さまのご出席への御礼と共にお一人お一人丁寧な紹介があり、続いて現実の北朝鮮問題での米国トランプ大統領の稀有な対応、謙虚に丁寧な説明を省く国内政界現状における我々庶民生活への影響を憂慮、そして将来日本への強い思い入れの言葉であった。

議事に入り、山岸事務局長より 28 年度事業報告及び 29 年度事業計画の説明があり、続いて北山会計長より 28 年度会計報告、岸監査からは今日の晴天のごとく一点の曇りないとの監査報告があり、満場一致の拍手で承認されて、議事は全て修了した。

母校より山端校長・本部同窓会から牧会長のお二人にわざわざ新幹線にて上京戴きました。

牧会長からは同窓会の近況報告と創立 90 周年行事の準備状況そして県内高校統合問題は他に類なき「国際交流科」であっても小規模生徒数では存続はいまだ未定であり、今後も存続可能性に努力するとの力強い説明を受けた、また同窓会本部助成金贈呈もあった。山端校長からは母校の活動状況で 6 年ぶりに野球県予選では二試合勝利した報告があった。

来賓挨拶は稲場伸也東京富山県人連合会副会長、富山県



首都圏本部河村幹治本部長、東京富山県人連合会東豊昭常務理事の皆様よりご祝辞を戴きました。

二部懇親会では山岸事務局長の司会進行でまずは吉田常任幹事の朗々と詠いあげた自作の詩吟「立山」に聴き入り、石岡弘子富山県人婦人会事務局長の音頭にて声高らかに乾杯、歓談に入った。

恒例の歓談進む中、浜副会長の郷土の歌謡、立山アルペンルート、帆柱起こし、麦屋節、そして越中おわら節では特別出席戴いた富山県人婦人会 6 名の皆様の優雅な流し踊りは、見事に華を添えて戴きました。カラオケは関東双龍会（高岡商業関東同窓会）斎藤一夫事務局長を皮切りにマイクの取合い、最後は全員で「青雲布ける立山に・・・」と校歌斉唱後、母校発展を祈念し鶴谷副会長音頭で万歳三唱、山端校長から当会の発展と会員各位の健勝を祈念し返礼の万歳三唱があり、エール交換後、林副会長から来年も再来年も元気で会いましょうとの締め挨拶で散会となった。

創立90周年 記念式典

Fushiki High School
90th Anniversary



創立90周年を終えて

副会長 小泉 哲二 (伏高26回)

創立90周年記念式典は多数のご来賓、恩師を迎え、同窓会員各位と約600名の出席で厳かに挙行されました。また、記念講演においては大変有意義且つ盛況裡に終えることができました。

私事ではございますが、今回の式典で同窓会役員功労者として感謝状を授与頂き、関係各位の温かいご配慮に感激し、深く感謝申し上げます。

さて、十年一昔とよく言いますが、10年前の80周年記念式典の折、同席した本校の学生が、小さな子供の手を引き高校のグラウンド周辺を散歩している姿を見かけ、「へ～、あの時の女学生がもう母親になったか」とつくづく10年という時の流れの速さに驚きました。

今後の10年は創立100周年、1世紀に渡る母校の歩みの中で、幾多の学制改革、高校再編という大きな難題に直面するであろうと思いますが、同窓会として地域住民の皆様並びに各方面の支援者の方々と共に一丸となり、地域の高校として存続に向け、力を注いでいくことで難題解決の良き方向に進んでいくことを確信しております。如意ヶ丘同窓会は吾が母校の未来を生きる生徒諸君の活躍を大いに期待するものであります。

結びに母校と同窓会の今後ますますの発展と関係各位のご健勝を祈念し、90周年記念事業無事終了のご挨拶といたします。

創立90周年記念事業モニュメント製作にあたり

副会長 条谷 正利 (伏高37回)

学校存続か、危ぶまれている私達の母校。昨年来、賛否両論ありましたが学校存続をかけて何か残るものを同窓会から寄贈し世間にアピールすることで少しでも存続に対し効果あればと言う思いからモニュメント製作を企画いたしました。

デザインは、地元デザイナーさんをお願いしました。

デザインコンセプトは、大海原を自然の力で力強く航行するヨットのごとく、人生の荒波をコミュニケーション能力を持ち合わせる人間を教育し輩出する高校。それが、伏木高校。

後ろの三角形の板は、海をイメージ。あえて黒。大小の丸い穴を空け、波の躍動感・強さを表現。シルバー色のマストポールは、モダンな曲線を生かし強度も考慮したシンプル形状。帆の部分は、ポリカーボネート板を使用し軽量化をはかり、その板に生徒から募集した希望の言葉(文字)を各国のスペルで書きました。

設置場所は、普段使用頻度の多い中庭の柘植の木が植えられていた花壇。

モニュメントをバックに集合写真も写す事ができます。

製作にあたり、私個人的には、ヨットでも購入してワンランク上の人生を築きたいと20才の頃夢見ていた事を思い出しながら図面をコンピューターで書いていました。

金属部はすべてステンレス製。予算の関係上塗装仕上げにしましたが、溶接等の金属加工・土木・施工等、卒業生の企業や学校近隣の企業さんをお願いしました。

そして、事務方の複雑な手続きの学校側の指導。中庭清掃からはじまり据え付け作業協力の役員みなさんの力で何とか仕上がったことを嬉しく思っています。良い思い出となりました。



三北 回卒高代 山産商會 山下和夫	三北 回卒高 富山大学名誉教授 吉原節夫	八北 回卒高 松長社会保険労務士事務所 松長一雄	九北 回卒高 東光産業(株) 取締役 布野彰一	十伏 回卒高 (株)日光商事 代表取締役 戸澤克行	十伏 回卒高 エムアールテクノサービス(株) 代表取締役 作道弘	十伏 回卒高 取締役会長 上野宏芳	十五伏 回卒高 (株)フシキ住設 代表取締役会長 中山勝儀	十六伏 回卒高 東光運輸(株) 代表取締役 牧亨	十六伏 回卒高 ヤマ自動車(株) 代表取締役会長 山孝之	十七伏 回卒高 事務局長 中島貞之	十八伏 回卒高 協高岡市商店街連盟 山口正志	二十伏 回卒高 代表取締役 東洋通信工業(株) 山口正志	(有)きたの 代表取締役 北野健一
----------------------------	-------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------------	---------------------------------------	----------------------------------------------	----------------------------	-------------------------------------------	--------------------------------------	------------------------------------------	----------------------------	---------------------------------	------------------------------------------	-------------------------

創立90周年記念祝賀会

副会長 戸澤 秀行 (伏高 39 回)

創立 90 周年記念式典・記念講演のあと、記念祝賀会が、18 時より伏木コミュニティセンター 3 階多目的ホールにおいて、来賓・同窓会会員・職員ら約 100 名が出席し、盛大に開催された。

牧亨同窓会長、山端将介校長の挨拶から始まり、前高岡市議会議員 盤若進二様よりご祝辞をいただき、高岡ロータリークラブ会長 西村博邦様による乾杯で、華やかに幕を開けた。すこしの歓談ののち、伏木高校ゆかりの方々のスピーチが始まります。



ヘルトネン純子氏による記念講演

伏木高校関東如意ヶ丘同窓会会長 酒井敬司様、伏木高校同窓会関西支部支部長 杉林清様、前校長 宮岸毅様ほか、大勢の方々に、当時の懐かしい話を盛り込んだスピーチをいただき、会場は和やかな雰囲気になりました。

終わりに、同窓会増井副会長と、条谷副会長が指揮者となり、伏木商業学校校歌、伏木高等学校校歌を全員で大合唱し、石須大雄高岡市議会議員、山端校長による万歳により、大盛況のうちに祝賀会は終わった。



ゴルフ大会報告

第32回 如意ヶ丘グリーン会

開催日	優勝	柳澤 昌文 (伏高 25 回)
平成29年4月8日(土)	次勝	炭 強 (伏高 30 回)
開催場所	3 位	弘 和 (伏高 30 回)
氷見カントリークラブ	4 位	隆 夫 (伏高 12 回)
	5 位	信 雄 (伏高 15 回)
参加者	6 位	明 治 (伏高 16 回)
52名	7 位	宮崎 耕治 (伏高 29 回)
	8 位	柿 邦 明 (伏高 23 回)
	9 位	海 老 忠 (伏高 34 回)
	10 位	伊 沢 実 行 (伏高 20 回)
	11 位	桶 野 之 (伏高 23 回)
	12 位	澤 武 博 (伏高 26 回)
	13 位	永 井 克 典 (伏高 26 回)
	14 位	中 山 勝 儀 (伏高 15 回)
	15 位	前 田 明 (伏高 8 回)
	B G	田 中 清 (北高 9 回)



第29回 富山県高校OB対抗ゴルフ大会

期日	〈出場者〉
平成29年6月4日(日)	増井 修 (伏高 22 回)
場所	桶谷 実 行 (伏高 20 回)
高岡カントリー倶楽部	向 慶 荘 (伏高 23 回)
	館 良 成 (伏高 32 回)
母校の名誉をかけ、熱戦	武 博 (伏高 26 回)
が繰り広げられ、健闘の	柳 昌 文 (伏高 25 回)
末、第27位に入りました。	藤 昌 広 (伏高 30 回)

平成29年度 国際交流事業実績

1 海外語学研修等派遣

派遣事業名	派遣国	派遣人数		期間等
		生徒	引率	
①北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業	韓 国	3	1	8/16 ~ 8/19
②日韓高校生交流	韓 国	1	なし	10/22 ~ 10/27
③語学研修 (友好校：大連市第十二中学)	中 国	27	3	12/16 ~ 12/20
④語学研修 (友好校：清明高等学校)	韓 国	39	3	12/17 ~ 12/22
⑤韓国研修旅行	韓 国	10	2	12/17 ~ 12/20
⑥語学研修 (ロシア・ウラジオストク市)	ロ シ ア	27	3	3/11 ~ 3/18
⑦インターアクト海外研修 「オーストラリア7日間」	オーストラリア	1	なし	3/21 ~ 3/27

2 友好校生徒等受入れ

受け入れ事業名	受入国	受入人数		期間等
		生徒	引率	
①中国・大連市第十二中学との交流	中 国	35	3	7/22 ~ 7/26
②韓国・清明高等学校との交流	韓 国	40	3	7/22 ~ 7/26
③ロシア・ウラジオストク訪問団との交流	ロ シ ア	24	3	9/25 ~ 10/1
④国際ロータリー 国際青少年交換プログラム	米 国	1	なし	H28.9 ~ H29.8

※①～③の受け入れでは、海外生徒は全日程、本校生徒の家庭でホームステイをする。
ホームステイ受け入れ家庭数…〔①：17戸、②：34戸、③：18戸〕
※上記以外に、第2外国語学習、国際理解等の有効な機会と判断できる場合は、随時、交流を実施する。

⑤ロシアダンススポーツ団 (受入)	ロ シ ア	22	5	7/7
⑥日本語学習青年交流グループ招聘プログラム	ロ シ ア	20		7/11

伏高 三十二回 代表取締役 増井 修	伏高 三十三回 代表取締役 山崎 泰邦	伏高 三十三回 代表取締役 小泉 哲二	伏高 三十三回 代表取締役 澤武 博	伏高 三十三回 代表取締役 井上 人士也	伏高 三十三回 代表取締役 松長 聡	伏高 三十三回 代表取締役 島田 博司	伏高 三十三回 代表取締役 松嶋 浩二	伏高 三十三回 代表取締役 数田 昭久	伏高 三十三回 代表取締役 条谷 正利	伏高 三十三回 代表取締役 前田 伊和男	伏高 三十三回 代表取締役 宮越 一郎
------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	------------------------------	--------------------------------	------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-------------------------------



～平成 28 年度 進路状況～

進路指導部長 浜木 健繁

国際交流科の第9期生の進路状況は右記のようになりました。

国立大学合格者は、1期生9名、2期生4名、3期生4名、4期生11名、5期生5名、6期生4名、7期生4名、8期生6名、9期生8名です。進学に関しては、推薦入試、AO入試、センター試験利用入試等様々な形があります。それぞれに対応したきめ細かい指導の結果、各自の希望をかなえられるようにしています。

進路先については、大学短大進学者 60 名のうち県内進学者が 21 名 (35%)、石川県 16 名 (27%)、関東方面 8 名、中部方面 8 名、近畿方面 7 名となっています。また、専門学校進学者 39 名の 22 名が県内 (56%) となっています。

就職に関しては、年々明るくなっています。特に男子の求人が大変多くなっています。

生徒の個々の能力に合わせ、最善の進路を選択できるよう教職員一丸となって努力しています。

同窓会の皆様には、本校生徒の進路実現のため一層のお力添えをよろしく願います。

平成 28 年度 大学等進路状況 (延べ数)

進路先	合格者数	学校名・企業名等
国立大学	8	富山、福井、富山県立
私立大学	33	日本、芝浦工業、帝京、駿河台、東京情報、帝京平成、愛知、愛知学院、中京、名古屋外国語、岐阜経済、桃山学院、京都外国語、京都華頂、京都光華女子、神戸樟蔭女子学院、金沢星稜、金沢工業、北陸、金沢学院、金城、北陸学院、富山国際、高岡法科
国立短期大学	1	岐阜市立女子
短期大学	18	埼玉女子短期、東海学院大学短期、関西女子短期、富山短期、富山福祉短期、金沢星稜女子短期、北陸学院大学短期
専門学校	39	富山県高岡看護、金沢医療技術、戸田中央看護、東京ダンス&アクターズ、東京ブライダル、東京ホテル&トラベル学院、国際調理師、トヨタ名古屋自動車大学校、富山外国語、富山県技術専門学校、富山医療福祉、臼井学園、高岡第一学園、富山県理容美容、富山情報ビジネス、富山リハビリテーション医療福祉、石川県理容美容、金沢リハビリテーションアカデミー、金沢文化服装学院、大原美容&ビューティ・ブライダル、国際ホテル&ブライダル
その他	2	雄峰高校専攻科
就職	18	アイシン軽金属・JFE マテリアル・メディカルケア・高岡ホンダ自販・磯はなび・クマキ・三協立山・コスモネット・加越能バス・翼住宅・救急薬品工業・渡製作所・広上製作所・金谷工業・佐川急便・KDC・氷見市農業協同組合・富山県警察

部活動報告

Fushiki High School

◆◆◆ 平成29年度 部活動の記録 ◆◆◆

(平成 29 年 3 月～11 月)

(体操部)

富山県高等学校春季大会体操競技

女子団体総合	優勝	
女子個人総合	第2位	喜 香恋 (3年)
	第3位	吉田 優芽 (3年)

富山県高等学校総合体育大会 体操競技選手権大会

女子団体総合	優勝	
女子個人総合	第2位	吉田 優芽 (3年)
	第3位	喜 香恋 (3年)

(国際関連)

第54回全国国際教育研究大会第37回高校生英語弁論大会

全国国際教育研究協議会会長賞 河原 真帆 (3年)

第54回全国国際教育研究大会第17回高校生日本語弁論大会

国際交流基金理事長賞 中川ロネロ (3年)

第35回全日本中国語スピーチコンテスト富山県大会

朗読部門・高校生の部 第2位 魚津 朱音 (3年)

スピーチ部門・高校生の部 第3位 黒川 舞弥 (3年)

第11回富山県ロシア語スピーチコンテスト

スピーチ部門 第3位 池田 珠路 (3年)

インターアクトクラブ表彰状 黒川 舞弥 (3年)

(書道部)

第42回富山県青少年美術展

書道部門 入選 林 佑香 (3年)

入選 吉野 瑞稀 (2年)

第16回岐阜女子大学全国書道展

奨励賞 吉野 瑞稀 (2年)

特賞 関原菜々美 (1年)

橋本 葵 (1年)

土合 凜 (1年)

東海 咲樹 (1年)

(琴部)

第28回富山県高等学校日本音楽演奏会

日本音楽部門 優秀賞

(その他)

さわやか運動

スローガン部門 努力賞 木谷 綾花 (1年)

ブレイブカップチャンピオンシップ

高校生男子の部 優勝 坪田 凌哉 (3年)

◆平成 29 年度英語検定合格者数 (平成 29 年 12 月現在)

級	学年	1年	2年	3年	合計
2級		2	1	11	14
準2級		6	3	2	11
3級		24	—	—	24

INFORMATION

①寄稿の件

本会報に掲載する原稿を募集致します。学生時代の記憶に残る体験、経験談、思い出話など皆様のご協力を頂き、より充実した紙面を目指していきたいと思っております。なお、原稿は 1,000 字以内でお願いします。下記学校事務局まで送付ください。

②会報広告の件

会報の購読を希望される方、および会報への広告掲載にご協力いただける方は、事務局までご一報ください。

③如意ヶ丘グリーン会参加者募集

毎年4月第2土曜日

富山県立伏木高等学校 事務局

受付 〒933-0116 富山県高岡市伏木一宮2丁目11番1号

窓口 TEL0766-44-1514 FAX0766-44-1707

E-mail: fushiki-hs@tym.ed.jp ホームページ http://www.tym.ed.jp/sc354/

編集後記

90周年事業の寄付金依頼に回って一様に言われたことは、今話題の高校再編です。考え方は十人十色で、あらためて再編の難さを痛感しました。教育には全く素人ですが、人口減少の時代に高校は義務教育とは違い、それぞれの特徴や差別化を打ち出すことが大切だと思いました。これは現代社会の色々な分野が抱える課題と共通しています。90年の歴史という貴重な教育資源に誇りを持ち、地域の特色を活かしながら希望に満ちた輝かしい母校の発展と次の100周年に向けて皆さんとともにまい進したいと思います。

副会長 上田 耕一 (伏高 28 回)